

Google Workspace for Education

Workspace のデータ分析チェックリスト

Google Workspace for Education の有償エディション ([Education Standard](#)、[Teaching and Learning Upgrade](#)、[Education Plus](#)) は、教育向けにカスタマイズされたエンタープライズ級のツールを備えており、革新的な学習環境の実現に役立ちます。ここでは、組織のデータと分析情報から Workspace の使用状況、エンゲージメント、セキュリティ体制を理解するための対策をご紹介します。

Google Workspace for Education のご検討は初めてですか？

エキスパートが詳しくご案内しますので、[こちら](#)からお問い合わせください。

Google Workspace 管理者の方には、レポートデータを確認し、活用するために以下のような基本的対策を行っていただくことをおすすめいたします。

- [レポート](#)から使用状況やセキュリティを確認する
- [アプリのレポート](#)を確認し、傾向や管理情報の概要を把握する
- [ハイライトレポート](#)を確認し、傾向と主な指標の概要を把握する
- セキュリティとアプリの使用状況に関するアクティビティ情報の重要ポイントをまとめた[レポート](#)を確認する
- 組織における [Gmail とドライブの使用状況](#)に関する詳細情報を確認する
- ドメイン全体の[セキュリティ体制](#)を評価する
- [監査ログ](#)で、管理者のアクティビティ、モバイル アクティビティなど特定のイベントに関する情報を確認する
- BigQuery に[レポートログをエクスポートする](#)
- BigQuery に[Gmail ログをエクスポートする](#)
- [コネクテッドシート](#)を使用して、Google スプレッドシートで BigQuery のデータを分析する
- Google データポータルを使用して、[BigQuery のデータを視覚化する](#)